



長野市公共施設マネジメント ニュース・レター Vol. 29 令和6年7月



第
29
号

公共施設マネジメントの推進に向けて

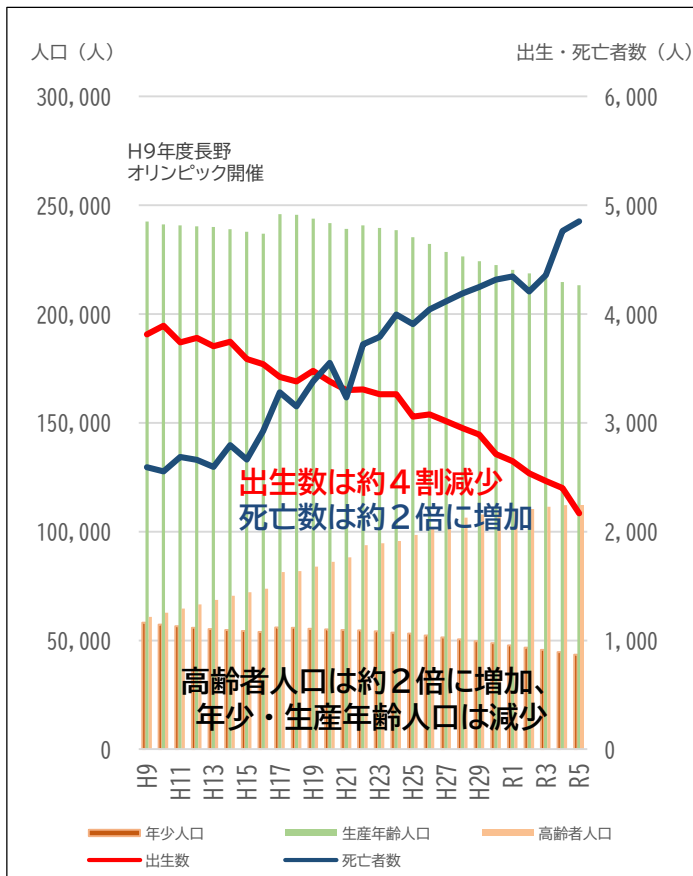
1 最近の取組みについて

長野市では公共施設等総合管理計画や個別施設計画に基づき、令和3年度には勤労者福祉施設を再編するなど施設の効率的な配置や総量の調整等に取り組んでいるほか、令和4年度予算から施設改修等の予算枠を確保して長寿命化改修など施設の保全を行っています。

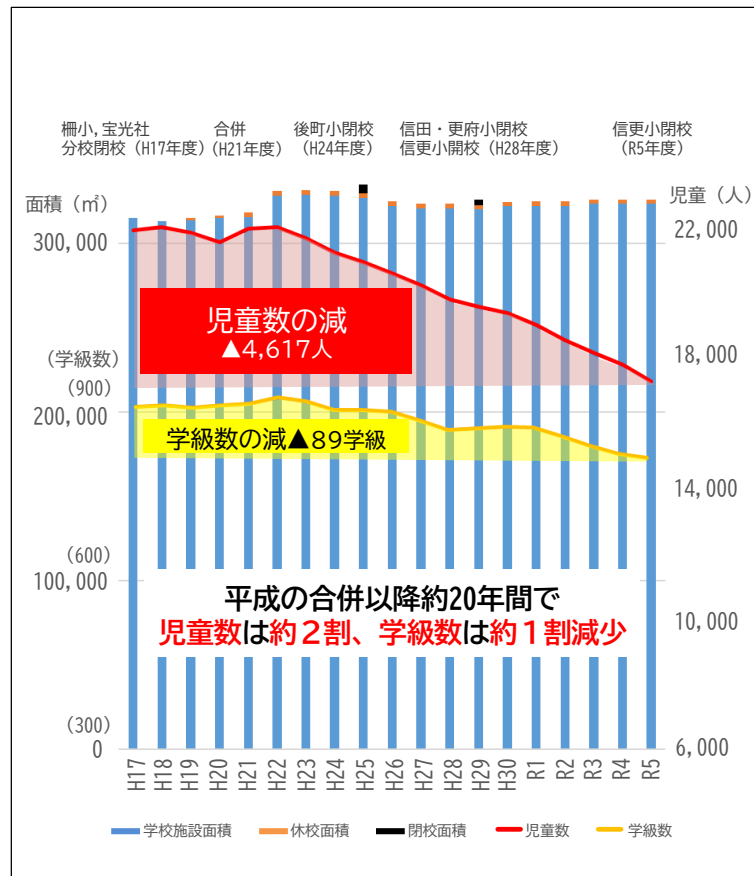
公共施設マネジメントは、将来の人口減少を見据えた取組みです。市の人口は、左下のグラフにもあるとおり高齢者は増加している中で、出生数の減少により年少人口や生産年齢人口は減少していることから、人口の自然増による税収の伸びを期待することは難しくなると考えられます。特に少子化の影響は、右下のグラフのとおり、児童数や学級数の減少として表われてきており、中山間地では閉校も生じてきています。

今後も児童数の減少が予測される中で、閉校する学校が出てくることも考えられ、その有効活用が課題となっています。このため教育委員会では、不登校児童生徒が安心を実感できる新たな居場所として、旧七二会小学校笹平分校を教育支援センター（SaSaLAND）に活用するといった取組みも始まっています。

■長野市の世代別人口・出生数・死亡数の推移



■市内小学校の施設面積・児童・学級数の推移

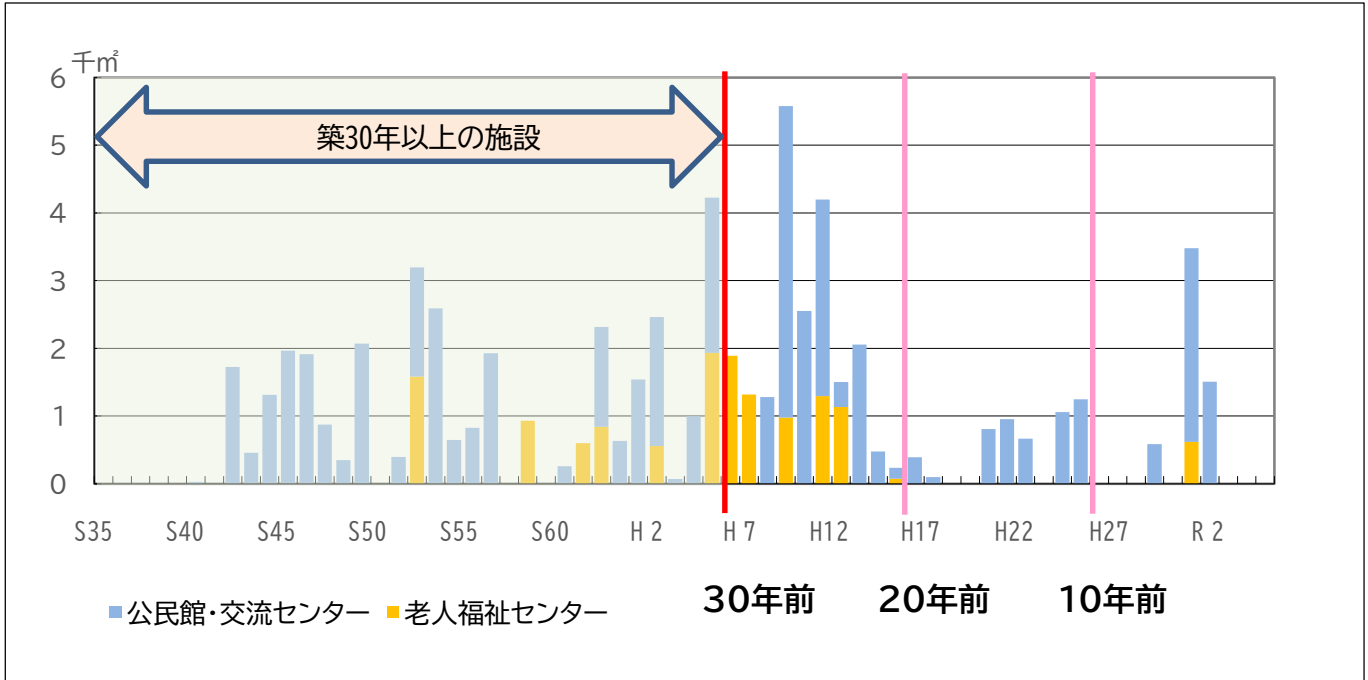


2 今後の取組みについて

学校は、本市の公共施設の中でも面積の割合が最も高く、また1つ1つの建物も大きいことから、1つの学校全体の活用の検討には時間がかかるため、早期に着手していく必要があります。

また、公民館などの生涯学習施設や老人福祉センターなどの高齢者施設は、集会や教室に使用するという機能が類似しており、建物の老朽化が進む中で、地域の皆さんが利用できる場所をより多く確保できる方法についての検討が必要になってくると考えています。

■ 公民館・交流センターと老人福祉センターの建築年度と施設面積



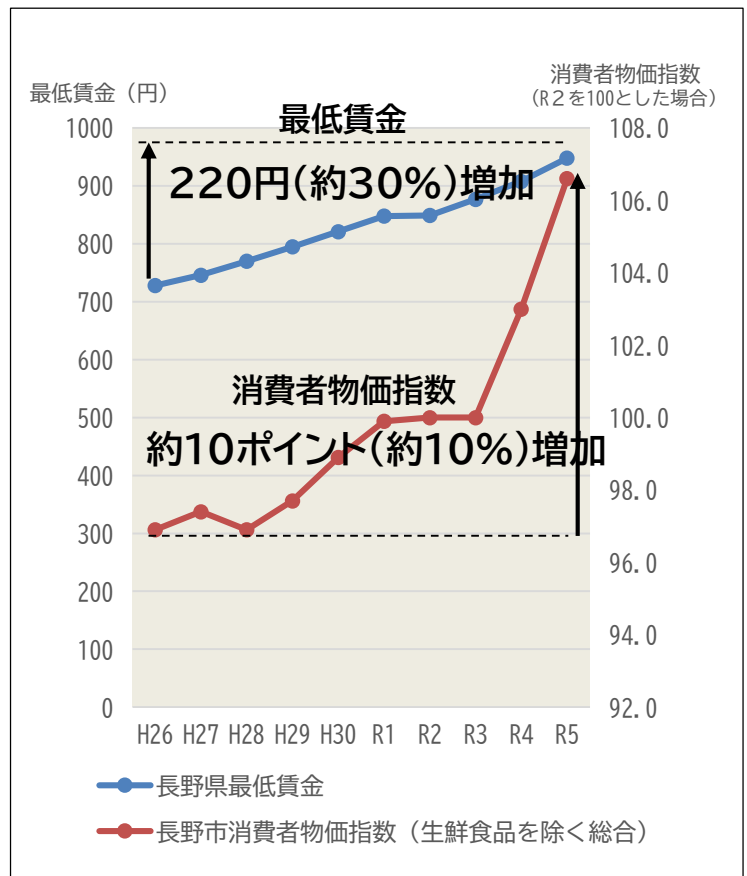
このほか、近年の世界情勢の影響によるエネルギー価格の高騰や原材料等コストの上昇などにより、物価全体が上昇しています。

物価上昇は、様々な面で影響を及ぼすことが見込まれ、施設の長寿命化改修においては、これまでの試算をベースにした場合、工事コストの増加により発注できる総量が減ることから、工事が遅れる可能性があります。

さらに、指定管理施設の運営に要するコストも物価上昇の影響を受けており、使用料などの見直しを検討せざるを得ない状況にあります。

こうした状況の変化に対応するため、必要のない市有財産の売却や売却した資金の積立など、将来に向けた財源の確保にも取組みながら、適切な公共施設マネジメントに努めていきます。

■ 長野県の最低賃金と長野市の消費者物価指数の推移



照明設備のLED化に向けた取組みを進めていきます

水銀が人の健康や環境に与えるリスクを低減するための包括的な規制を定める「水銀に関する水俣条約」の第5回締約国会議（令和5年11月）の中で、直管形蛍光灯の製造と輸出入を令和9年末までに禁止することなどが合意されました。

令和10年以降も蛍光灯の使用や在庫品の販売は継続となりますが、ランプが切れたり、令和元年に製造が終了した蛍光灯安定器※の寿命が来れば不点灯となるため、今後の問題としては、既設の蛍光灯から発光ダイオード照明への切り替え（LED化）が必要となります。

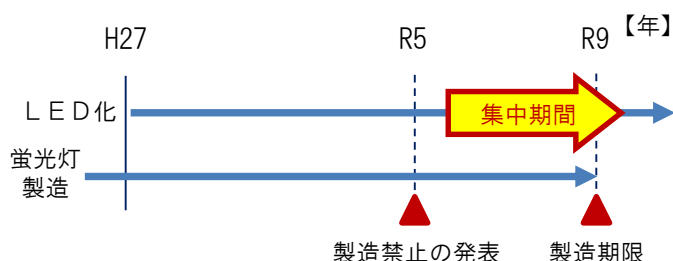
水俣条約の合意で製造禁止が迫る主な蛍光灯



電球形蛍光灯
【令和7年末 製造禁止】



直管形蛍光灯
【令和9年末 製造禁止】



本市の建築物のLED化の取組みは、平成27年以降の新築や耐震補強等の工事のほか、令和4年度からの長寿命化改修工事の中で進めてきましたが、蛍光灯の製造禁止を受けて、期限内のLED化への対応が急務となっている状況です。

本市のLED化を進めるに当たっての課題

- | | |
|--|--|
| ■ 蛍光灯を使用している 全施設 が対象となる | ➤ 数多い施設に対し、全体で進めていく 方針、計画が必要 |
| ■ 期限までに完了できない場合、蛍光灯の代替として LEDランプ での対応が必要となる | ➤ 組合せが不適切な場合、発煙や火災などの重大事故につながる恐れがある
➤ 事故リスクがあり、公共施設に馴染まない |
| ■ 蛍光灯の製造終了を受け、官民ともに 交換工事の集中 が予想される | ➤ LED照明器具の品薄（従来より納期延長）や電気工事業者の不足（業者の取合い、マンパワー不足）などが予想されることから、 希望する時期に切り替えできない可能性が高くなる |

課題解決に向けて

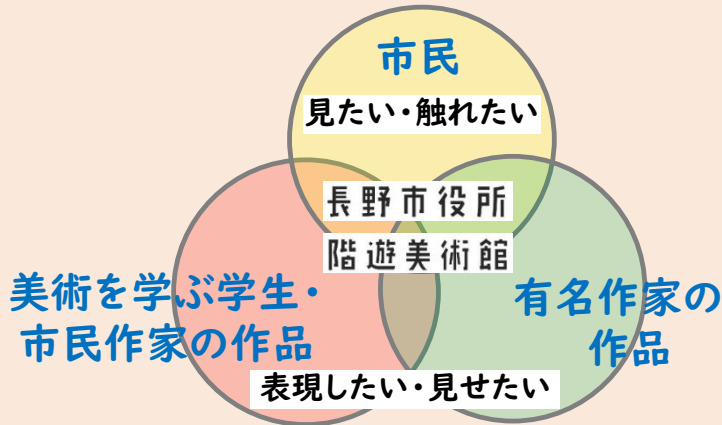
- ✓ 市有建築物のLED化方針・計画については、当課を中心に策定を進めています。期限内にできるだけ多くの蛍光灯を、できるだけ早くLED化できるよう、**令和7年度からの着手を目指します。**
- ✓ 期限までに完了できない場合に備え、施設運営に支障が出ないように全施設のLED化完了までの間に必要となる**蛍光灯**を撤去品の保管などでストックし、**できる限り活用していきます。**

※ 蛍光灯安定器：蛍光灯を発光、明かりを安定化させるために必要な装置

市役所第一庁舎の壁や空きスペースを活用し、市が所有する有名作家の作品と小・中学生や美術を学ぶ学生・市民作家の作品を展示する『長野市役所階遊美術館』を今年3月から始めました。市が所有する芸術作品や、市民の皆さん、学生、子どもたちの作品をお楽しみください。

<コンセプト>

市役所第一庁舎を長野市美術館と一体の「美術館」になぞらえ、音楽や演劇など「動」に対し、絵画、彫刻、陶芸など「静」の作品を展示



① アート(美術、芸術)を見たい・触れたい市民が集い、作品と出会い、つながる空間とするため、市が所有する有名作家の作品、小・中学生や美術を学ぶ学生・市民作家の作品を展示する。

② 市役所がアート(美術、芸術)の力により、誰もが気軽に立ち寄れる居心地の良い空間となり、地域のよりどころとして、幸せをつくる場所となることを目指す。

主な展示内容(6月現在) ※ 展示作品は、おおむね半年ごとに入れ替えを行う予定



各フロアの展示場所には、左のような案内看板が立っています！

7階 市所有の作家作品

8階 美術を学ぶ学生の作品

6階 企画展

市民作家・学生等の作品を定期的にテーマを決めて展示

市立長野高校美術部 作品展



5階 市所有の作品

画家 ミズテツオ



愛・勇気・98・希望・信頼 (1996)

4階 市内小・中学校の児童・生徒の作品

1～3階 市所有の作品



第41回日展(2009)月唱
W135×H165
染色家 千葉 紘子



山村の朝 (1954)
W80×H65
画家 水上 民平

2階 美術を学ぶ学生の作品

作品の展示状況



活用前



現在

◆今までのニュースレターや公共施設マネジメントの情報は、HP!
【長野市ホームページ>市政情報>施策・計画>公共施設マネジメント】



今回のニュースレターはいかがでしたか?
皆さまの感想をお聞かせください。
次号もお楽しみに!

◆挿入キャラクター「ミーコ」の作画は、長野俊英高等学校 漫画研究部に協力していただきました。

長野市 総務部 公共施設マネジメント推進課

〒380-8512 長野市大字鶴賀緑町1613番地

Tel : 026-224-7592 Fax : 026-224-7964

E-mail : koukyou@city.nagano.lg.jp